



巨大地震・津波が発生したら・・・

手順④ 巨大地震や津波が発生した時、自宅はどうなるか確認



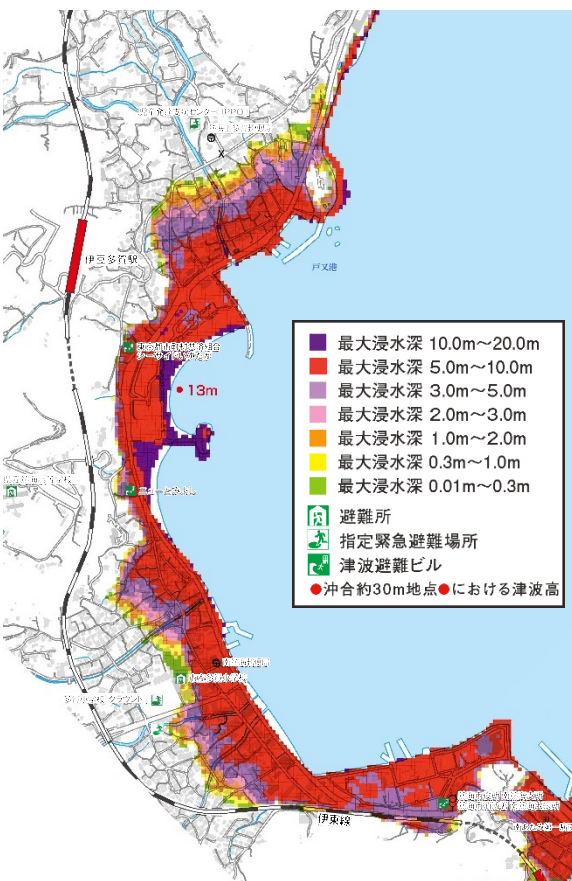
地震・・・巨大地震の時には「震度5強」以上の揺れが来ます。



津波・・・ ① 自宅に、津波が「来るのか」、「来ないのか」？
② 揺れてから「どのくらいの時間で」津波が来るのか？
をマップで確認しよう！

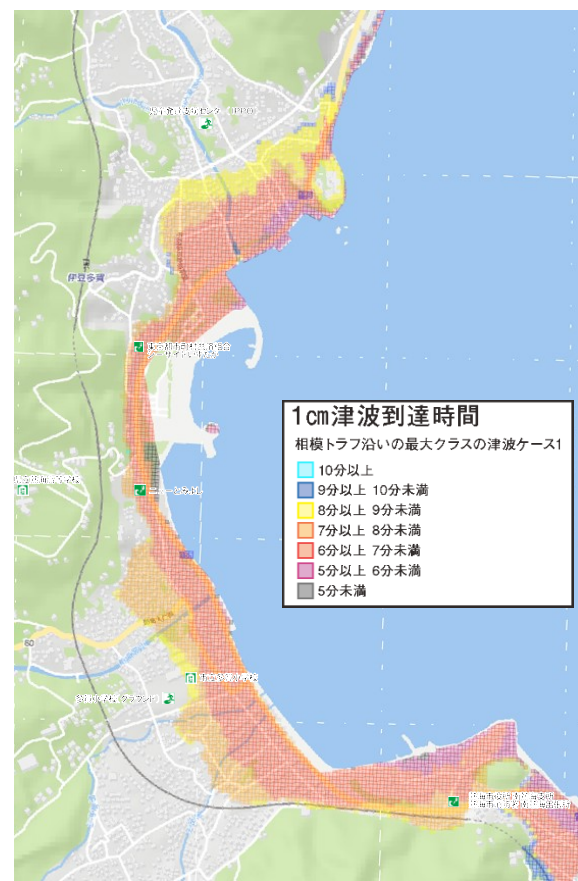
<津波浸水想定区域>

熱海市津波ハザードマップより



<津波到達時間>

静岡県第4次地震被害想定より



山折り

<目次>

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

P1

土砂災害
大雨

手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

P2

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

P3

津波
地震

手順④ 巨大地震や津波が発生した時、自宅はどうなるか確認

P4

手順⑤ 「どこに」、「いつまでに」避難すればいいか確認し、記入

<見本>

ガイドに沿って
これをつくっていくよ！



「わたしの避難計画」

～作成ガイドで確認したことをメモしましょう～

<p>大雨の時</p> <p>土砂災害</p> <p>●避難のタイミング</p> <p>●避難先</p> <p>●情報収集手段</p>	<p>津波による危険</p> <p>●津波による危険</p> <p>●津波の到達時間</p> <p>●避難先</p>
--	--

非常持ち出し品

- 現金・通帳
- 懐中電灯
- 携帯電話
- 消毒液
- 携帯ラジオ
- 飲料水
- 充電器
- 体温計
- 薬(お薬手帳)
- マスク
- 非常食
- 着替え

同報無線音声再生サービス

同報無線の放送内容をもう一度聞きたい場合は0557-86-6066におかけください。

手順⑤ 「どこに」、「いつまでに」避難すればいいか確認し、記入

津波が来る場合

「津波到達時間」までに、たどり着くことができる「避難先」に避難します。
「到達時間」と「避難先」を、「わたしの避難計画」に書こう！

津波が来ない場合

地区で決められている「避難先(集合場所)」に一旦集合します。
「避難先(集合場所)」を、「わたしの避難計画」に書こう！
※避難先が分からない場合は熱海市HPや熱海市防災ガイドブックで確認

熱海市 多賀地区

わたしの避難計画 作成ガイド

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

- 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。

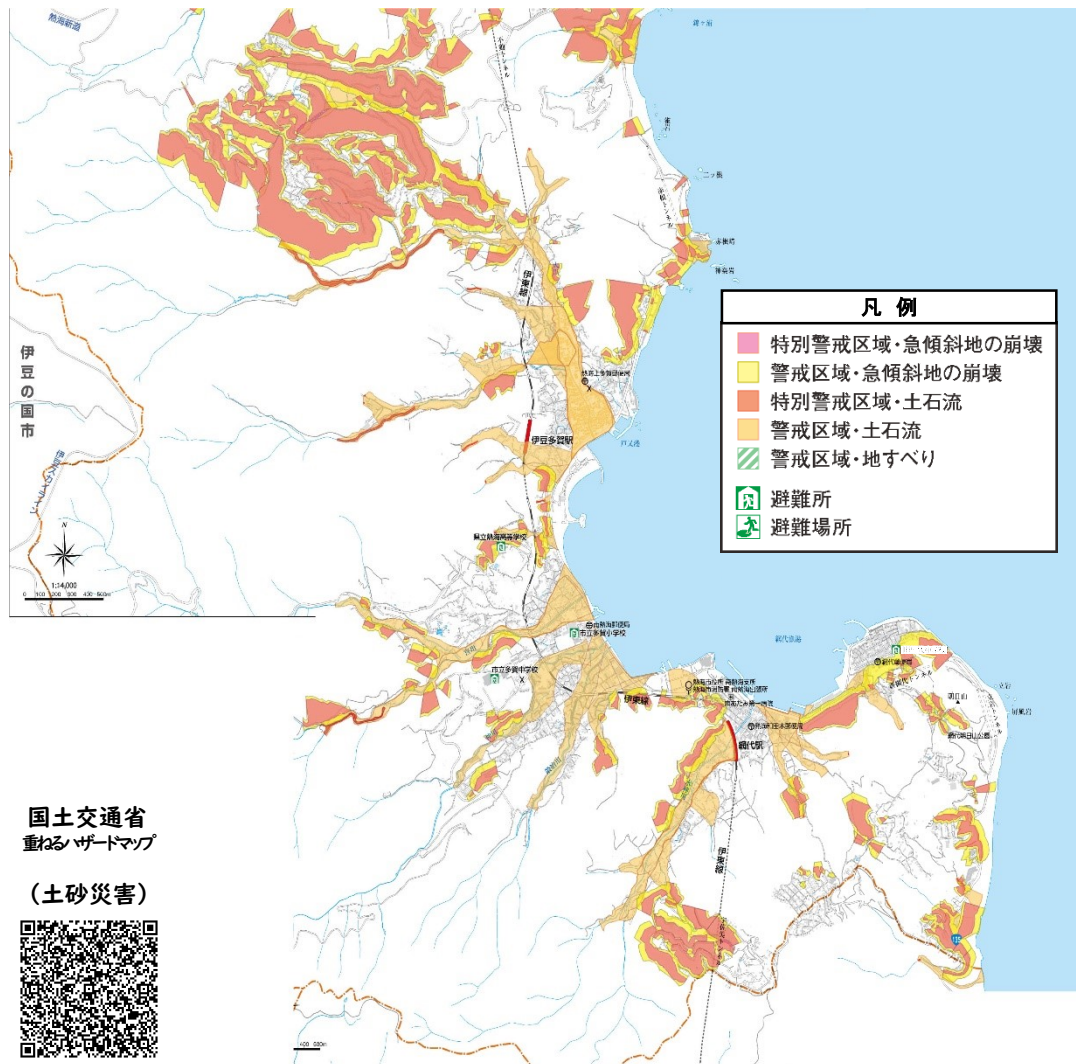
次のページに進もう→

大雨の時 (土砂災害)



手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう



見えにくい場合は「熱海市防災ガイドマップ」もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しよう。

※出典:熱海市防災ガイドマップ

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

○警戒区域・土石流/急傾斜地の崩壊/地すべり

それぞれ土石流、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)、地すべりのおそれのある地域

- 警戒区域・急傾斜地の崩壊
- 警戒区域・土石流
- 警戒区域・地すべり

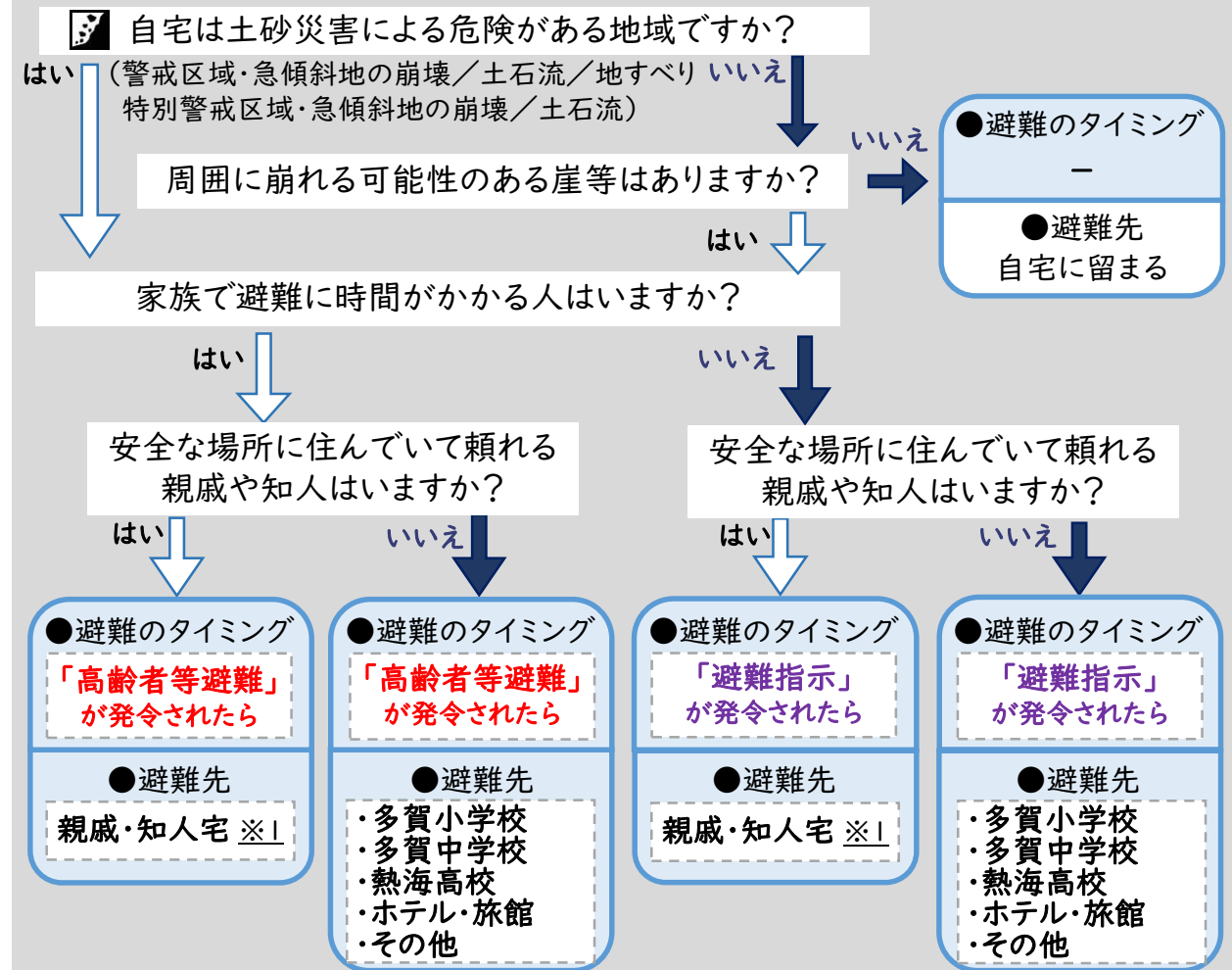
○特別警戒区域・土石流/急傾斜地の崩壊

土石流または急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)が発生した際に建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある地域

- 特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
- 特別警戒区域・土石流

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。

熱海市
メールマガジン



熱海市の情報をLINEで受け取ることができます。

熱海市
公式LINE



避難情報やハザードマップが確認できます。

静岡県
防災アプリ



土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。

気象庁キキクル
(土砂災害)



2次元コードが読み込めない場合は、名前で検索してみよう!

静岡県防災アプリ

検索